

【施策評価調査】

施策名	3-4-4	交通安全組織の育成と強化		施策目的	本町内の交通量の飛躍的増加に伴い、交通事故の発生も増加しており交通安全は安心して暮らせる社会において重要な位置付となっています。 1人1人に交通安全の普及をするためには、学校や職場などの生活場において交通安全を認識し実行することが交通事故の減少に繋がります。
		※高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	総務企画部 地域安全課	担当	危機管理担当	環境変化	施策内容
		リーダー	戸井田 和明		
					交通安全活動の普及を目指して、交通安全協会等の交通安全組織の育成、強化を図ります。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

■指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①:交通安全関係組織数(支部)	平成16年度交通安全関係組織数	計画	65	68	68	68	68
	61支部	実績	↓ 61	↓ 62	↓ 62	↓ 62	
指標②:交通安全活動年間実施回数(回)	平成16年度交通安全活動年間実施回数	計画	45	50	50	55	55
	35回	実績	↑ 48	↓ 46	↓ 40	↓ 40	
指標③:		計画					
		実績					
◆◆ 指標に関する特記事項 ◆◆							

	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	当初	2,333,000	573,000	500,000	500,000	
	決算	2,431,995	572,450	500,000	484,132	

■事務事業事後評価 21年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
①交通安全組織育成費	当初 500,000	各種交通安全教室等の開催数	A	町交通安全関係組織と行政との協働により、年3回の交通安全運動を実施しました。その結果、前年と比較して交通死亡件数、負傷者数が減少しました。これは、地域に活動が浸透しているためであると考えられます。			
	決算 484,132			21回 / 20回	今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)
②	当初	/		今後の方向性(自己評価)			
	決算			今後の方向性(総合評価)		今後の方向性(総合評価)	
③	当初	/		今後の方向性(自己評価)			
	決算			今後の方向性(総合評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初	/		今後の方向性(自己評価)			
	決算			今後の方向性(総合評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初	/		今後の方向性(自己評価)			
	決算			今後の方向性(総合評価)		今後の方向性(総合評価)	

■施策事後評価 21年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	交通事故防止については、個人の意識が重要ということで、年間40回の交通安全活動や21回の交通安全教室などの啓発活動を行いました。回数については、目標値に達していないものの啓発活動は交通事故防止には、欠かせないものであります。道路施設の整備と合わせて啓発活動は、交通事故防止に寄与していると考えます。(交通死亡事故:H20が2人でH21が1人で1人減少。交通事故発生件数:H20が146件でH21が121件と25件減少。負傷者:H20が187人でH21が160人で27件の減少)	今後は、更に交通安全活動組織や行政、警察との連携を図り、交通事故を未然に防止する活動を強化し、情報の共有化を通じて、万一の場合に迅速で的確な行動ができるよう推進していきます。
総合評価	これまでの取組みを生かしつつ、交通安全組織の活性化に繋がるような意識の統一化や行政・警察との情報の共有化が図られたことで成果があがっているものと評価する。交通事故が減少した要因を分析しつつ、持続的に成長できるモチベーションなど、新しい視点で更なる組織の育成強化を図るなど、後期計画においては、政策として総体的に防犯組織と統合して展開することも検討すること。	改善方針